



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <https://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桶谷 満

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

定時株主総会開催予定日 2021年6月25日

配当支払開始予定日

2021年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	17,502	0.9	1,142	20.9	1,188	20.9	793	50.3
2020年3月期	17,659	3.5	944	15.9	982	20.9	528	0.9

(注) 包括利益 2021年3月期 843百万円 (63.4%) 2020年3月期 516百万円 (0.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	231.85		9.0	9.1	6.5
2020年3月期	154.30		6.4	8.8	5.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,511	9,272	63.9	2,708.63
2020年3月期	11,553	8,463	73.3	2,472.23

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,272百万円 2020年3月期 8,463百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	837	3,148	1,943	2,350
2020年3月期	1,255	2,913	51	2,717

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	34	6.5	0.4
2021年3月期		0.00		23.00	23.00	78	9.9	0.9
2022年3月期(予想)		0.00		23.00	23.00		13.7	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,651	3.4	310	15.7	394	4.7	200	11.1	58.55
通期	17,414	0.5	855	25.1	957	19.4	574	27.7	167.73

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 有
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	4,216,000 株	2020年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	2021年3月期	792,722 株	2020年3月期	792,722 株
期中平均株式数	2021年3月期	3,423,278 株	2020年3月期	3,423,300 株

(参考)個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	16,372	0.8	1,098	20.4	1,170	24.0	791	57.2
2020年3月期	16,507	3.2	912	20.3	944	24.6	503	3.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	231.10	
2020年3月期	147.04	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	13,662	9,014	66.0	2,633.22
2020年3月期	10,708	8,209	76.7	2,398.25

(参考) 自己資本 2021年3月期 9,014百万円 2020年3月期 8,209百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	8,020	2.1	376	2.6	192	20.7	円 銭
通期	16,239	0.8	916	21.7	550	30.4	56.23
							160.80

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計上見積りの変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業収益の低下や雇用環境の悪化が続いており、社会・経済活動が大きく制限され、極めて厳しい状況にあるだけでなく、新たな脅威と成り得る変異ウイルスの発生や感染が再拡大するなど先行きも不透明な状況にあります。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、企業収益、観光、雇用情勢、個人消費の悪化は続いており、依然として厳しい状況が続いております。

医療業界におきましては、医療費抑制等の社会的要請を背景に令和2年4月の診療報酬・薬価改定の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による医療機関の外来診療抑制や一般患者の減少など、更なる経営努力が求められる事業環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得等による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高17,502百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益1,142百万円（同20.9%増）、経常利益1,188百万円（同20.9%増）及び親会社株主に帰属する当期純利益793百万円（同50.3%増）と売上高は前年同期を下回りましたが、利益は前年同期を上回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により、医療機関による外来診療の抑制と受診する一般患者が減少する等の影響を受けましたが、PCR検査の受託が増加したことから、売上高6,135百万円（前年同期比5.4%増）と前年同期を上回りました。

利益面につきましては、売上高の増加による利益の増加に加え、経費の抑制によりセグメント利益624百万円（同69.8%増）と前年同期を上回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、薬価の引下げ改正に加え、新型コロナウイルス感染症拡大により、医療機関による外来診療の抑制と受診する一般患者が減少する等の影響を受けたことから、売上高10,444百万円（同4.0%減）と前年同期を下回りました。

利益面につきましては、売上の減少による利益の減少に加えて、2019年10月の消費税率の引上げによる負担経費が増加したことから、セグメント利益862百万円（同8.3%減）と前年同期を下回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消耗品、備品及び福祉用具の販売が前年同期を下回ったことから、売上高835百万円（同3.2%減）と前年同期を下回りました。

利益面につきましては、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高86百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益66百万円（同13.7%増）になりました。

(2) 当期の財政状態の概況

区分	当期	前期	増減
総資産（百万円）	14,511	11,553	2,958
純資産（百万円）	9,272	8,463	809
自己資本比率（%）	63.9	73.3	△9.4
1株当たり純資産（円）	2,708.63	2,472.23	236.40

当連結会計年度末における資産総額は、前年同期末に比し2,958百万円増加し14,511百万円（前年同期末比25.6%増）となりました。

流動資産は前年同期末に比し19百万円減少し5,912百万円（同0.3%減）となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が170百万円、その他が195百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が367百万円減少したことによるものです。

固定資産は前年同期末に比し2,977百万円増加し8,598百万円（同53.0%増）となりました。

主な要因は、建設仮勘定が72百万円減少しましたが、建物及び構築物が2,910百万円、投資有価証券が42百万円、工具、器具及び備品が42百万円それぞれ増加したことによるものです。

当連結会計年度末における負債総額は、前年同期末に比し2,149百万円増加し5,239百万円（同69.5%増）となりました。

流動負債は前年同期末に比し310百万円増加し3,105百万円（同11.1%増）となりました。

主な要因は、長期借入れにより1年内返済予定の長期借入金133百万円が発生したことに加え、支払手形及び買掛金が124百万円、未払法人税等が39百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は前年同期末に比し1,838百万円増加し2,133百万円（同624.9%増）となりました。

主な要因は、役員退職慰労引当金が22百万円減少しましたが、長期借入れにより長期借入金1,866百万円が発生したことによるものです。

純資産は前年同期末に比し809百万円増加し9,272百万円（同9.6%増）となりました。また、自己資本比率につきましては、前年同期末比9.4%減少し63.9%となり、1株当たり純資産につきましては、前年同期末比236円40銭増加し、2,708円63銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

区分	当期	前期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	837	1,255	△417
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△3,148	△2,913	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	1,943	△51	1,995
現金及び現金同等物の増減額（百万円）	△367	△1,709	1,342
現金及び現金同等物期末残高（百万円）	2,350	2,717	△367

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フロー837百万円の資金増加、投資活動によるキャッシュ・フロー3,148百万円の資金減少及び財務活動によるキャッシュ・フロー1,943百万円の資金増加の結果、資金は367百万円減少し2,350百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

当連結会計年度における各連結キャッシュ・フローの状況と増減要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、837百万円（同33.3%減）となり、前年同期に比し417百万円減少いたしました。

主な要因は、法人税等の支払額337百万円（同73百万円増）、未収消費税等の増加額195百万円（同178百万円増）及び売上債権の増加額165百万円（前年同期は売上債権の減少額39百万円）がありましたが、税金等調整前当期純利益1,175百万円（前年同期比330百万円増）、減価償却費271百万円（同26百万円増）及び仕入債務の増加額117百万円（同167百万円減）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は、3,148百万円（同8.1%増）となり、前年同期に比し235百万円増加いたしました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出3,142百万円（同168百万円増）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で獲得した資金は、1,943百万円（前年同期は使用した資金51百万円）となり、前年同期に比し1,995百万円増加いたしました。

主な要因は、配当金の支払額34百万円（同0百万円増）、リース債務返済による支出22百万円（同4百万円増）がありましたが、長期借入れによる収入2,000百万円が発生したことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第54期 2018年3月期	第55期 2019年3月期	第56期 2020年3月期	第57期 2021年3月期
自己資本比率 (%)	71.7	74.7	73.3	63.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	73.6	63.2	47.3	36.1
債務償還年数 (年)	0.0	0.1	0.1	2.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	833.9	403.0	577.0	307.8

- (注) 自己資本比率 : 自己資本／総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
 債務償還年数 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）より算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも経済活動は徐々に持ち直していくことが期待されますが、依然として不透明な状況が継続するものと思われまます。

医療業界におきましても、医療費抑制政策が継続され、感染症の拡大による医療機関を受診する一般患者の減少は、当社グループの業績に大きく影響を及ぼしております。

このような状況下、当社グループは新社屋に本社機能を移転することにより中長期的な経営基盤を強化、業務の拡充と効率化を図ってまいります。PCR検査の受託は引き続き見込むものの原材料の価格高騰や検査価格の低下が想定されることに加え、2021年4月に薬価の引下げ改定により、経営環境は一段と厳しさを増しております。

これらにより、当社グループ全体での2022年3月期の連結業績予想は、売上高は17,414百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益855百万円（同25.1%減）、経常利益957百万円（同19.4%減）及び親会社株主に帰属する当期純利益574百万円（同27.7%減）を見込んでおります。

なお、上記見通しは、新型コロナウイルス感染症の拡大やまん延防止等重点措置の実施などにより変動する可能性があります。今後の業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示してまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分につきましては、中長期戦略を踏まえ、経営基盤の強化及び将来の事業展開に対応した内部留保の確保並びに株主の皆様への安定した配当の実現基本としております。

2021年3月期末を基準日とする期末配当につきましては、利益配分の方針、財務状態等を総合的に勘案し、1株につき23円とする予定であります。内部留保金につきましては、収益力の一層の向上を図るため、業容拡大及び設備投資等の資金に充当する方針でございます。

また、次期の配当につきましては、2022年度診療報酬・薬価改定に加え、感染症の影響が見通せない状況ではあります。23円配当継続する所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,727,762	2,360,724
受取手形及び売掛金	2,608,458	2,778,934
商品及び製品	451,828	433,079
仕掛品	14,477	16,389
原材料及び貯蔵品	56,044	57,890
その他	99,632	295,035
貸倒引当金	△26,496	△29,514
流動資産合計	5,931,708	5,912,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,180,082	5,159,122
減価償却累計額	△1,380,607	△1,448,670
建物及び構築物(純額)	799,474	3,710,452
機械装置及び運搬具	41,984	42,365
減価償却累計額	△34,662	△35,089
機械装置及び運搬具(純額)	7,321	7,275
工具、器具及び備品	2,746,664	2,739,683
減価償却累計額	△2,367,301	△2,317,702
工具、器具及び備品(純額)	379,362	421,980
土地	3,526,697	3,526,697
リース資産	119,485	142,104
減価償却累計額	△40,068	△50,839
リース資産(純額)	79,416	91,264
建設仮勘定	72,627	—
有形固定資産合計	4,864,900	7,757,671
無形固定資産		
その他	45,789	42,154
無形固定資産合計	45,789	42,154
投資その他の資産		
投資有価証券	133,827	176,525
長期貸付金	241	125
長期前払費用	7,861	5,009
差入保証金	246,020	245,387
繰延税金資産	174,553	161,947
その他	169,667	226,974
貸倒引当金	△21,426	△16,863
投資その他の資産合計	710,745	799,106
固定資産合計	5,621,436	8,598,931
資産合計	11,553,144	14,511,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,168,969	2,293,762
1年内返済予定の長期借入金	—	133,987
リース債務	19,434	23,530
未払法人税等	209,909	249,055
賞与引当金	119,910	115,210
未払金	139,886	113,662
その他	137,614	176,724
流動負債合計	2,795,724	3,105,932
固定負債		
長期借入金	—	1,866,013
リース債務	70,107	80,203
役員退職慰労引当金	80,376	57,384
退職給付に係る負債	15,387	14,460
長期末払金	121,751	110,440
資産除去債務	2,000	—
その他	4,652	4,652
固定負債合計	294,274	2,133,154
負債合計	3,089,998	5,239,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	7,089,087	7,848,543
自己株式	△633,207	△633,207
株主資本合計	8,454,500	9,213,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,645	58,429
その他の包括利益累計額合計	8,645	58,429
純資産合計	8,463,145	9,272,384
負債純資産合計	11,553,144	14,511,471

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	17,659,084	17,502,544
売上原価	12,139,165	11,767,659
売上総利益	5,519,918	5,734,884
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	2,712
役員報酬	123,060	119,160
給料手当及び賞与	2,180,293	2,210,962
賞与引当金繰入額	86,431	83,536
退職給付費用	22,641	22,618
役員退職慰労引当金繰入額	8,506	9,236
法定福利費	362,103	368,624
賃借料	56,439	54,497
地代家賃	342,382	338,392
消耗品費	117,783	125,038
減価償却費	116,301	111,043
租税公課	551,835	570,031
その他	607,195	576,686
販売費及び一般管理費合計	4,574,976	4,592,539
営業利益	944,942	1,142,345
営業外収益		
受取利息	434	346
受取配当金	5,822	5,470
受取賃貸料	49,009	48,998
受取保険料	10,424	688
助成金収入	—	34,669
保険返戻金	13,227	—
貸倒引当金戻入額	1,016	—
その他	13,827	12,025
営業外収益合計	93,762	102,198
営業外費用		
支払利息	2,175	2,575
賃貸収入原価	49,353	46,354
その他	4,192	7,468
営業外費用合計	55,721	56,398
経常利益	982,982	1,188,144
特別利益		
固定資産売却益	90	413
特別利益合計	90	413
特別損失		
固定資産除却損	41	895
投資有価証券評価損	17,532	11,735
減損損失	120,240	—
特別損失合計	137,814	12,630
税金等調整前当期純利益	845,259	1,175,928
法人税、住民税及び事業税	324,143	377,282
法人税等調整額	△7,089	4,957
法人税等合計	317,054	382,239
当期純利益	528,204	793,688
親会社株主に帰属する当期純利益	528,204	793,688

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	528,204	793,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,157	49,783
その他の包括利益合計	△12,157	49,783
包括利益	516,047	843,471
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	516,047	843,471
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	6,595,116	△633,162	7,960,574
当期変動額					
剰余金の配当			△34,233		△34,233
親会社株主に帰属する当期純利益			528,204		528,204
自己株式の取得				△45	△45
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	493,971	△45	493,925
当期末残高	983,350	1,015,270	7,089,087	△633,207	8,454,500

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	20,802	20,802	7,981,377
当期変動額			
剰余金の配当			△34,233
親会社株主に帰属する当期純利益			528,204
自己株式の取得			△45
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,157	△12,157	△12,157
当期変動額合計	△12,157	△12,157	481,768
当期末残高	8,645	8,645	8,463,145

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	983,350	1,015,270	7,089,087	△633,207	8,454,500
当期変動額					
剰余金の配当			△34,232		△34,232
親会社株主に帰属する当期純利益			793,688		793,688
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	759,455	—	759,455
当期末残高	983,350	1,015,270	7,848,543	△633,207	9,213,955

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	8,645	8,645	8,463,145
当期変動額			
剰余金の配当			△34,232
親会社株主に帰属する当期純利益			793,688
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	49,783	49,783	49,783
当期変動額合計	49,783	49,783	809,238
当期末残高	58,429	58,429	9,272,384

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	845,259	1,175,928
減価償却費	244,731	271,274
減損損失	120,240	—
投資有価証券評価損益(△は益)	17,532	11,735
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,444	△926
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,364	△4,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,290	△1,544
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,465	9,236
受取利息及び受取配当金	△6,257	△5,817
支払利息	2,175	2,575
有形固定資産売却損益(△は益)	△90	△413
有形固定資産除却損	41	895
預り保証金の増減額(△は減少)	△15	—
売上債権の増減額(△は増加)	39,417	△165,912
たな卸資産の増減額(△は増加)	64,539	14,990
仕入債務の増減額(△は減少)	285,348	117,361
長期前払消費税等の増減額(△は増加)	△5,128	△56,525
未収消費税等の増減額(△は増加)	△17,297	△195,310
その他の資産・負債の増減額	△75,673	37,255
小計	1,519,919	1,210,101
利息及び配当金の受取額	5,970	5,620
利息の支払額	△2,176	△2,721
法人税等の支払額	△263,810	△337,592
役員退職慰労金の支払額	△4,356	△37,818
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,255,547	837,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	40,986	—
有形固定資産の取得による支出	△2,973,993	△3,142,007
有形固定資産の売却による収入	90	2,104
無形固定資産の取得による支出	△9,919	△10,835
長期貸付金の回収による収入	112	115
投資有価証券の償還による収入	3,000	3,000
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
資産除去債務の履行による支出	—	△2,000
その他	26,558	1,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,913,165	△3,148,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000,000
リース債務の返済による支出	△17,392	△22,117
自己株式の取得による支出	△45	—
配当金の支払額	△34,193	△34,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,630	1,943,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,709,249	△367,039
現金及び現金同等物の期首残高	4,426,980	2,717,730
現金及び現金同等物の期末残高	2,717,730	2,350,691

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社は、2020年11月30日開催の取締役会において、施設の賃借契約解除に関する決議をいたしました。これにより、利用不能になる固定資産について耐用年数を短縮し、使用見込期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の売上総利益は7,184千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ21,816千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として病院等の診療に必要な臨床検査の受託業務を行う「臨床検査事業」と、調剤薬局店舗を運営する「調剤薬局事業」及び高度医療機器から一般医療機器、理化学機器等の販売並びに保守を行う「医療機器販売・保守事業」の3事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理方法と概ね同一であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

(耐用年数の変更)

(会計上の見積りの変更)に記載のとおり、当社は、2020年11月30日開催の取締役会において、施設の賃借契約解除に関する決議をいたしました。これにより、利用不能になる固定資産について耐用年数を短縮し、使用見込期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度のセグメント利益は「臨床検査事業」9,492千円、「調整額」に含まれる全社費用は12,324千円それぞれ減少しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,821,997	10,882,973	863,745	17,568,715	90,369	17,659,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	740,461	740,461	649	741,110
計	5,821,997	10,882,973	1,604,206	18,309,176	91,018	18,400,194
セグメント利益又は損失(△)	368,014	941,013	△5,355	1,303,672	58,249	1,361,921
セグメント資産	2,017,743	3,352,751	818,705	6,189,200	30,136	6,219,337
その他の項目						
減価償却費(注)	123,000	103,409	9,126	235,537	151	235,688
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	254,424	60,273	16,269	330,967	588	331,556

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,135,864	10,444,828	835,819	17,416,512	86,032	17,502,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	652,456	652,456	721	653,178
計	6,135,864	10,444,828	1,488,276	18,068,969	86,753	18,155,722
セグメント利益又は損失(△)	624,920	862,778	△1,125	1,486,574	66,201	1,552,775
セグメント資産	2,504,069	3,327,711	836,480	6,668,261	12,600	6,680,862
その他の項目						
減価償却費(注)	157,678	84,975	8,258	250,912	213	251,126
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	312,399	111,094	5,184	428,678	—	428,678

(注) 「減価償却費」には長期前払費用に係る償却額が含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	18,309,176	18,068,969
「その他」の区分の売上高	91,018	86,753
セグメント間取引消去	△741,110	△653,178
連結財務諸表の売上高	17,659,084	17,502,544

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,303,672	1,486,574
「その他」の区分の利益	58,249	66,201
セグメント間取引消去	8,197	8,530
全社費用(注)	△425,176	△418,960
連結財務諸表の営業利益	944,942	1,142,345

(注)「全社費用」の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,189,200	6,668,261
「その他」の区分の資産	30,136	12,600
セグメント間消去	△137,556	△151,985
全社資産(注)	5,471,364	7,982,594
連結財務諸表の資産合計	11,553,144	14,511,471

(注)「全社資産」の主なものは、当社での余剰資金、長期投資資金等に係る資産であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	235,537	250,912	151	213	9,042	20,147	244,731	271,274
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	330,967	428,678	588	—	2,782,606	2,806,502	3,114,163	3,235,180

(注)「減価償却費」には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	120,240	—	—	—	120,240

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	2,472円23銭	1株当たり純資産額	2,708円63銭
1株当たり当期純利益	154円30銭	1株当たり当期純利益	231円85銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	528,204	793,688
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	528,204	793,688
期中平均株式数 (千株)	3,423	3,423